

滋賀県立

聴覚障害者センター だより



—120号—

発行日／2026年1月10日

発行所／草津市大路2丁目11-33

TEL 077-561-6111

FAX 077-565-6101

HP <https://shigajou.or.jp>

新年のご挨拶

センター所長 中西 久美子

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、旧年中は当センターに對しまして、ご利用者様、関係者様からの温かいご支援とご協力、ご理解を賜り、心より厚く御礼申し上げます。皆様のおかげで、無事に新春を迎えることができました。

2025年は、特に「SHIGA 2025」(第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会)や「東京2025年デフリンピック」なども盛大に執り行われ、多くのボランティアや関係者の皆様のおかげで、選手たちが

最高のパフォーマンスを発揮できる環境が整えられ、安全かつ記憶に残る大会となりました。スポーツ振興にとつて素晴らしい一年となったことに、改めて感謝申し上げます。

この度、皆様の日頃からの温かいご支援とご協力のおかげで、当センターは指定管理者として今後5年間の事業継続が決定いたしました。心より感謝申し上げます。

この決定を重く受け止め、職員一同、改めて身が引き締まる思いです。これまでに培った経験とノウハウを活かし、さらなるサービスの向上に努め、皆様にこれまで以上に愛される施設運営を目指してまいります。

私たちが大切にしている motto は、『否定からは何も生まれない』です。困難な課題や新しいアイデアに直面した時こそ、ま

ずはお互いの意見を受け入れ、可能性を信じるのが重要だと考えています。

この motto を胸に、職員全員が「まずはやってみる」というチャレンジ精神で様々なことに取り組み、実りある一年にしてまいります。専門職としての知識・技術の向上にも努め、皆様に最善のサービスを提供できるよう、一丸となつて精一杯努めてまいります。

今後とも、変わらぬご愛顧とご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■2025年度 手話通訳者養成講座 手話通訳Ⅱ・Ⅲが無事修了しました

11月8日(土)に当センターで手話通訳者養成講座Ⅱ・Ⅲの閉講式を行いました。約7ヶ月近くに及ぶ講座を無事に終えることができましたのは、講師の方々のご尽力のおかげです。また、修了者には、当センター所長の中西久美子から閉講の挨拶と修了証を授与いたしました。

あいさつの中で次の三点についてお伝えしました。まず第一に、「健康管理は自分で!」ということです。活動の基盤は、何よりも

皆様自身の健康です。私たちが地域社会に貢献し、有意義な日々を過ごすためには、心身ともに健康であることが不可欠です。第二に、「仲間を忘れずにチャレンジすること」です。目標に向かって挑戦する気持ちは非常に大切です。新しいことに取り組み、個々の能力を伸ばしていきましょう。しかし、その過程で決して仲間を忘れてはなりません。ともに支え合い、協力し合うことで、より大きな成果を生み出すことができます。チームワークを大切にし、互いを尊重しながら、前向きにチャレンジしてまいります。第三に、「きこえない人の暮らしを守るための活動を継続すること」です。当センターの最も重要な使命は、きこえない方々が安心して生活できる社会を築くことです。情報保障や社会参加の支援など、これまでの活動を弛まず継続し、さらに発展させていく必要があります。

私たちは、きこえない方々の暮らしを守るために、常に最善を尽くし続けていきましょう。皆様の努力が実を結び、12月6日の統一試験で多数の合格者が出ますよう、心よりお祈り申し上げます。合格発表は年度末です。

■2025年度

要約筆記者養成講座

(PCコース)の進捗状況

2025年6月に開講された講座の受講生の皆様、今年の暑い夏を乗り越え、毎回熱心にご参加いただきました。いよいよ講座も残り数回となりました。受講生の皆様は、2026年2月15日(日)に実施される2025年度全国統一要約筆記者認定試験の合格を目指し、講師陣の指導のもと、日々一生懸命に学習を続けられています。パソコン要約筆記者(ノートテイクを行う者)は現在不足しており、聴覚障害者にとって重要な情報保障手段である要約筆記の担い手を増やすことは、社会的な課題となっています。この講座を通じて資格取得者が増え、活動の場が広がることは、切に望まれています。受講生の皆様の努力が実を結び、より多くの合格者が出ることを心より応援しております。



滋賀県立聾話学校

文化祭にブース出展

しました!

11月1日(土) 滋賀県立聾話学校で文化祭が開催され、当センターとして初めてブース出展をしました!

細い路地を入った場所にある当センター。聾話学校にゆかりがあっても、「どこにあるか知らない」「そもそも何をしているところなの?」という方もいらつしやるのでは...と思っていました。今回のブース出展では、当センターがどういう目的をもって、どんなことをしているのか、見て知ってもらえるよう、掲示物を作成しました。職員の手作りでカラフルに仕上げた掲示物の前でたくさんの方が足を止めてくださいました。



説明をすると来場者の方が「へえ

!」と頷いたり、質問をしてくださって、このブース出展で少しでもセンターのことを知ってもらえたのではないかと思います。来場者の方にはアンケートにも答えていただきました。センターの認知度の調査と、今後よりよい企画をしていくために、役立てたいと思います!

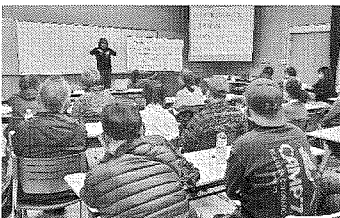
いきいき情報教室 お薬について 学んでみませんか?

11月13日(木)、当センターにていきいき情報教室「お薬について学んでみませんか?」を開催しました。参加者は15名でした。

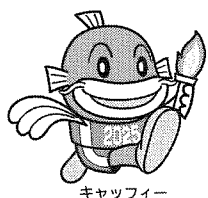
前半は、ふくろうの会企画の交流会。ふくろうの会は、ろうのヘルパーや手話ができるヘルパーが所属している会です。企画のひとつとして、3チームに分かれてミニ運動会を行いました。競技は2種目。どちらも座ってできる内容で、みなさんも懸命に取り組み、企画は大盛り上がりでした!結果は全チーム引き分けとなり、和やかなムードで後半の講演に移りました。

後半の講演は、「聴覚障害をもつ医療従事者の会」から難聴の薬剤師 山崎由香子氏にお越しいただきました。質疑応答では、薬の飲み方、副作用とアレルギーのこと、おくすり手帳のこと、目薬の差し方など、みなさん普段きけない薬の疑問をたくさん尋ねていました。講師の山崎氏は、薬のことで困ったり気になることがあれば、ぜひ薬剤師を頼ってほしいとおっしゃっていました。

この「お薬について学んでみませんか?」をテーマにしたいいきいき情報教室は、1月15日に湖南市(サンライフ甲西)、3月12日に彦根市(プロシードアリーナHIKONE)で開催予定です。講演のテーマは同じですが、交流会の内容は各回様々で、参加してからの楽しみです。一度参加した方も、まだの方も、ぜひご参加ください。詳しい情報は、チラシやセンターのホームページで確認できます。



湖国の感動 未来へつなぐ



キャッフィー

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2025



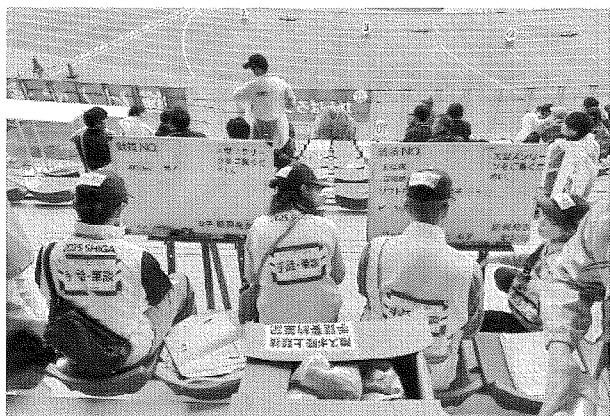
チャッフィー

手話・要約筆記ボランティア お疲れ様でした

2025年10月25日～27日に開催された、第24回全国障害者スポーツ大会「障スポ」にて、のべ1157人の手話・要約筆記ボランティアが活躍しました。

ありがとうございました。ボランティアの様子を紹介します。

陸上



フライングディスク



ボッチャ



バスケットボール・車いすバスケットボール



バレーボール（知的障害）



サッカー



スポーツの力・応援の力・ボランティアの力 感動でした。
ありがとうございました。

センターだより【開催予告】

★はじめての手話教室「きこえないとは？」「手話を学ぼう」

一般の方・子育て世代の方を対象に、ちいさいお子さんや赤ちゃんと一緒にでも参加できる手話教室を開催します。

①日時：2026年2月21日（土） 10：00～11：30（90分）

場所：キラリエ草津 5階 オープンスペース

②日時：2026年3月14日（土） 10：00～11：30（90分）

場所：甲賀市まちづくり活動センターまる一む

※事前申込制 定員 15 名程度／参加無料／授乳室・休憩室あり

★日曜教室事業 青年講座「自身の活動から考える、これからのろうあ運動について」

講師：西脇将伍氏

経歴：NHK「手話で楽しむみんなのテレビ」「みんなの手話」出演

デフリンピック サインエール制作主導 など

対象は、滋賀県内在住のきこえない・きこえにくい若い人たちです。

日時：2026年1月31日（土） 14：00～17：00

場所：滋賀県立聴覚障害者センター研修室

※事前申込が必要です

★日曜教室事業 防災教室「防災・減災を楽しく学ぼう！ユニバーサル防災大道芸」

講師：瀬戸勇氏（横浜市消防局司令課司令第三係主任・横浜市登録手話通訳者）

対象は、滋賀県内在住のきこえない・きこえにくい方です。

日時：2026年2月8日（日） 13：30～16：00

場所：滋賀県立障害者福祉センター アリーナ

※事前申込が必要です

申込については当センターの HP をご確認ください

タツノオトシゴ

少し前から捨て活をしていましたが、捨て活が功を奏する時（引っ越し）が、思いのほか、早くやってきました。荷造りは前回より楽と思っていましたが、予想に反し物が多く、捨てていた割にはこんなに収納されていたのだ！と驚くばかりです。引っ越してから、収納しきれない食器などを捨て、少し悲しい思いもしました。しかし物が少ないと、暮らしやすいことに改めて気が付きました。

ミニマリストには程遠いですが、物が増えないよう、今後も買う時から意識しようと思っています。

（M.T）

退職の挨拶
田中 睦

非正規職員期間を含め 12 年間、みなさまには大変お世話になり、ありがとうございました。
またどこかでお会いしました時には、よろしくお願いいたします。